

## 昆虫採集クラブ活動記録

### 第2回例会の内容

### スキャナにかけた写真

今回の例会は「昆虫の<sup>からだ</sup>体<sup>かんさつ</sup>じっくり観察」です。

昆虫をパソコンのスキャナにかけて<sup>しゃしん</sup>写真<sup>ほう</sup>にする方

<sup>ほう</sup>法<sup>しょうかい</sup>を紹介しました。この方法だと昆虫<sup>いがい</sup>以外の<sup>よけ</sup>よけ

いなものが<sup>はい</sup>入らないので、<sup>なまえ</sup>名前<sup>しら</sup>を調べる<sup>とき</sup>時や記録

として<sup>のこ</sup>残しておきたい<sup>べんり</sup>時には便利<sup>かつよう</sup>なのでぜひ活用<sup>か</sup>してみてください。

この日はあいにくの<sup>てんき</sup>天気だったので、採集の<sup>とちゆう</sup>途中から<sup>あまあし</sup>雨足<sup>つよ</sup>が強くなり<sup>たんしゆく</sup>時間を短縮<sup>こ</sup>し

て<sup>しゅうりょう</sup>終了となりました。たださすが採集クラブの<sup>こ</sup>メンバーたちです。そんな天気でも木

の<sup>は</sup>葉の<sup>うら</sup>裏に<sup>かく</sup>隠れている<sup>ななかま</sup>ハムシやオトシブミの仲間<sup>な</sup>をたくさん<sup>み</sup>見つけていました。



フライアシリアゲ



モンキチョウ



また、今回の例会からその<sup>じき</sup>時期によく見られる昆虫<sup>しゆ</sup>1種を選び、動物<sup>しりょうかん</sup>資料館で<sup>てんじ</sup>展示すること<sup>に</sup>にしました。第1回目の<sup>てんじ</sup>展示昆虫は<sup>しゆ</sup>ジョウカイボンとなりました。



アワフキゲット



この幼虫はなんだろう→カメノコテントウでしたー



## 採集記録

採集日時 2012年5月26日(土)  
12:45~13:45  
採集場所 四季の森  
天気 雨  
気温 19℃



## 採集した昆虫

### 甲虫の仲間

ジョウカイボン・アオジョウカイ・マルムネジョウカイ・ウスイロクビボソジョウカイ・アベクビボソジョウカイ・アオハムシダマシ・カクムネベニボタル・アカハネムシ・セモンジンガサハムシ・ズグロキハムシ・イタドリハムシ・ムナグロツヤハムシ・ヒゲナガオトシブミ・カシルリオトシブミ・ケブカトゲアシヒゲボソウムシ・クロツヤクシコメツキ・ムナビロサビキコリ・モモグロハナカミキリ・ナミテントウ・スジクワガタ・アオオサムシ・アトボシアオゴミムシ・ブroudコガネ

### カメムシの仲間

アカスジキンカメムシ・ツチカメムシ

### ハチの仲間

オオコシアカハバチ・ヒメバチの一種

### ハエ・アブの仲間

アリスアブ・ケバエの一種

### チョウ・ガの仲間

コジャノメ・フロスジノメイガ・ホソユウマダラエダシャク・ホソオビヒゲナガ・ヤガの一種

### バッタの仲間

ヒシバッタ

### その他の昆虫

ミカドガガンボ

## 展示昆虫の紹介

### ジョウカイボン

分類 甲虫目 ジョウカイボン科

分布 北海道・本州・四国・九州

体長 14~18mm



春~夏にかけて園内の林や草原で最もよく見かける甲虫です。カミキリムシに似ていますが、つまえると前羽がやわらかく違いがわかります。肉食で他の昆虫を捕まえて食べます。なぜか腹側に赤いダニがついていることが多いです。